

報道関係者各位

2019年3月14日
株式会社エボラブルアジア

投資事業

中古車 CtoC マーケットプレイス「Ancar」を展開する 株式会社 Ancar への資本参加

One Asia のビジョンをかかげ、アジアを舞台に、オンライン旅行事業、訪日旅行事業、IT オフショア開発事業と投資事業を手掛ける株式会社エボラブルアジア(本社:東京都港区、代表取締役社長:吉村 英毅、証券コード:6191、以下当社)は、中古車個人間売買(CtoC)マーケットプレイス「Ancar」を展開する株式会社 Ancar(本社:東京都品川区、代表取締役 CEO:城 一紘、以下 Ancar 社)への資本参加をいたしました。

■Ancar 社とは

Ancar 社は、『安心・安全な移動体験をとどける。』をミッションに掲げ、中古車個人間売買マーケットプレイス「Ancar」の企画、開発、運用をメインに、自動車販売、個人間売買の仲介事業、自動車整備事業、自動車情報の発信事業を行っております。

従来、中古車が売買されている BtoC 市場では、複数の中間業社が介在しているため中間コストが余剰に発生している一方、買い手と売り手が直接取引できる中古車 CtoC では、消費税が非課税で、中間業者に支払う手数料を削減できるため、売り手は高く売れ、買い手は安く買うことが可能です。

しかし、自動車の取引には名義変更などの複雑な手続きや、輸送、安全性の担保、さらには購入後のメンテナンスの不安など、一般的なフリマアプリでは対応しきれない項目が多数あり、これらが自動車の CtoC が浸透しない原因となっております。

このような状況の中、同社は上記課題を解決できる中古車個人間売買マーケットプレイス「Ancar」の提供や、全国1,000箇所の特設整備工場とユーザーのマッチングサービス「Repea(リペア)」の提供を通じて、消費者がお得に中古車を買い、安全で快適なカーライフを過ごすことができる社会を実現するサービス開発に取り組んでおります。



中古車個人間売買(CtoC)マーケットプレイス「Ancar」: <https://www.ancar.jp/>

■株式取得の目的

この資本参加は、投資事業の一環での取り組みであり、Ancar 社の今後の成長によるリターンを期待しております。

■業績に与える影響

今回の当社出資は、投資事業の一環での取り組みになります。Ancar 社の事業成長による将来のキャピタルゲインに期待しています。本出資による当連結会計年度の業績への影響は現時点では軽微と判断しています。

【株式会社 Ancar】

本社 : 東京都品川区東五反田 1-4-1 ハニー五反田第 2 ビル 4F

社名 : 株式会社 Ancar

代表者: 代表取締役 CEO 城 一紘

資本金: 310,350 千円(資本準備金含む)

URL : <http://ancar.co.jp/>

【株式会社エボラブルアジア】

本社 : 東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー19F

社名 : 株式会社エボラブルアジア

代表者: 代表取締役社長 吉村 英毅

資本金: 1,682,257 千円(払込資本 4,478,648 千円)

URL : <http://www.evorableasia.com/>

【当社サービスサイト】

総合旅行プラットフォーム エアトリ : <https://www.airtrip.jp/>

ビジネストラベルマネジメント(BTM)事業 : http://www.evorableasia.com/service/online_travel/btm/

IT オフショア開発事業 : <http://www.evorableasia.com/service/offshore/>

【当社 IR サイト】 : <http://www.evorableasia.com/ir/>